

『あげ巻助六』をめぐって

早稲田大学大学院博士課程 阿部さとみ

はじめに

『あげ巻助六』は、天明5年(1785)2月、桐座で、『重重人重歌會我』の第二番目に三代目瀬川菊之丞が上演した『春昔由縁英』中の一曲である。通称を「女助六」といい、揚巻と助六の二役を踊り分けるのが眼目の長唄舞踊であった。

これ以前、男勝りな女の姿を見せる「女助六」の舞踊は、二代目瀬川菊之丞が『女伊達姿花』の名題で上演しており、三代目菊之丞は、二代目の十三回忌追善としてそれを元にした『あげ巻助六』を踊ったのである。

三代目菊之丞は、家の芸を継承する一方で、天明年間には独自の路線を打ち出していった。¹この時代、菊之丞は『羽根の禿』を初演し、それまでは「時代」の姫か傾城の役が軸軸だった舞踊に画期的な変化をもたらした²。三代目菊之丞は拍子事に優れ、かつ書替女狂言を得意とした芸風の持ち主で、その闊達な技芸によって、女形の演じる女の役にバリエーションを加えたのである。『あげ巻助六』も、二代目菊之丞が演じた『女伊達姿花』を受け継ぎながら、独自の工夫を加えていることが知られる。『あげ巻助六』はどのような内容だったのだろうか。それまでの娘の舞踊とどのように表現方法が異っていたのだろうか。

『女伊達姿花』は、二代目菊之丞の上演以来、振り・曲ともに絶えていた。昭和44年5月、国立劇場舞踊公演「宝暦から明治へ」で、若柳光妙(後の高濱流光妙)によって復曲上演された。『あげ巻助六』は、平成3年10月に中村雀右衛門が「第十二回雀右衛門の会」(歌舞伎座)の「春昔由縁英」の一齣として「女伊達」のタイトルで上演している(詞章は『あげ巻助六』の前半部分とほぼ一致する)。

二代目の初演時、および三代目の所演時の振りを再現することはできないが、僅かに残された資料である正本、番付類から詞章や扮装について検証し、近年の復活上演の資料も参考に、実態に近づき手がかりを得ることにしたい。

『女伊達姿花』と『あげ巻助六』

「女助六」の初演は明和元年(1764)正月市村座で、二代目菊之丞が上演した『女伊達姿花』である。正本の絵表紙や番付類から両作の扮装を拵えを比較すると、『女伊達姿花』³では、着流しに帯を後ろで結び、鉢巻に、脇差を差し、傘を手に、下駄を履いた姿で描かれている。これに対して三代目の『あげ巻助六』⁴は、鉢巻、下駄、傘の小道具は同じであるが、衣裳が変わり、前帯の傾城

姿で、片肌脱ぎのような格好になっている。

次に『女伊達姿花』では役名が「女だてあげまき 本名大いそのとら」であること、詞章中に「歩む姿も蓮葉にて男なりけり女伊達」と見えることから、一般的な女形の舞踊とは趣を異にしていることがわかり、それも「男勝りの女」であることが知られる。後半の詞章は「堤八丁草そよぐ草に。音せぬぬりばなを。一つ印籠一つ前」等、「和助六」に拠った部分が散見され、その扮装と併せて、女伊達の揚巻が助六の所作をしたであろうことが推察できる。

一方の『あげ巻助六』では、その題名からも二役であることが想像される。詞章は、『女伊達姿花』が「和助六」を典拠とした詞章「堤八丁草そよぐ草に。音せぬぬりばなを。一つ印籠一つ前……」等を前半に引用し、その後を増補した曲になっている。詞章の上からも、「つらい勤めもくにならぬ」と揚巻を示すもの、「是助六が前渡り」と助六の描写をするものに分かれていることが確認できる。この曲は揚巻の扮装で揚巻と助六の両者の形を見せる点に特色があり、片肌脱ぎのような扮装もその演じ分けの一助になったと考えられる。

このように『あげ巻助六』は、『女伊達姿花』を元としながらも、女伊達そのものを表現するのではなく、男と女を演じ分け、女姿で男の役を表現する趣向に主眼があったことが推測できる。『女伊達姿花』と『あげ巻助六』との相違点に三代目菊之丞の工夫や芸風の特徴を知る手がかりを得ることができると思う。そして『あげ巻助六』の詞章の後半「花の東や 心もよし原 助六流の男伊達……ぞめき仲間の女伊達」の男伊達の名尽しの件りは、後に三代目自身が初演する『女伊達』(文化六年四月、中村座、『邯鄲園菊蝶』)にそのまま流用され、「女助六」が『女伊達』の造型に影響を及ぼしていることを推察することができる。

参考文献・資料

- 1 佐藤知乃氏「三代目菊之丞の芸歴」『寛政期の前後における江戸文化の研究』千葉大学大学院・社会文化科学研究科, 2000年
- 2 服部幸雄氏「変化論」『変化論』平凡社, 1981年
- 3 『女伊達姿花』正本(早稲田大学演劇博物館所蔵, 和:ト13-111), 板元・泉屋権四郎。
- 4 『春昔由縁英』正本(東京大学総合図書館所蔵E33:642), 板元・富士屋小十郎
天明5年正月桐座絵本番付(早稲田大学演劇博物館所蔵, 口23-170)。天明5年2月桐座辻番付(早稲田大学演劇博物館所蔵: 口034-003)